

乳癌補助化学療法における脱毛の実態 に関する多施設アンケート調査

-CSP-HOR化学療法に伴う脱毛患者サポートに関するワーキンググループ-

仙台医療センター乳腺外科 渡辺隆紀

筆頭演者の利益相反状態の開示

該当なし

化学療法を受けたがん患者の苦痛

順位	1983年 ¹⁾	1993年 ²⁾	1996年 ³⁾	2000年 ⁴⁾
1	嘔吐	脱毛	悪心	家族への影響
2	悪心	悪心	脱毛	脱毛
3	脱毛	全身倦怠感	嘔吐	全身倦怠感
4	治療への不安	治療への不安	全身倦怠感	家事・仕事への影響
5	治療時間の長さ	うつ状態	注射の不快感	社会活動への影響
6	注射の不快感	家族への影響	便秘	性的感覚の欠如
7	呼吸促迫	不安感	治療への不安	起立時のめまい
8	全身倦怠感	家事・仕事への影響	家族への影響	下痢
9	睡眠障害	嘔吐	うつ状態	体重増加
10	家族への影響	多尿	心配または緊張	呼吸促迫

1) Coates A. Eur J Cancer, 1983

2) Griffin AM. Ann Oncol, 1996

3) Dennert MB. Br J Cancer, 1997

4) Carelle N. Cancer, 2002

財団法人パブリックヘルスリサーチセンターヘルスアウトカムリサーチ支援事業(CSP-HOR)

-化学療法に伴う脱毛患者サポートに関するWG-

2011.11-

渡辺隆紀 仙台医療センター
 下妻晃二郎 立命館大学
 斉藤光江 順天堂大学
 矢形寛 聖路加国際病院
 岡田宏子 東京大学
 今井博久 国立保健医療科学院
 吉田悠子 順天堂大学
 高山智子 がんセンター中央病院
 野澤桂子 がんセンター中央病院アピアランス支援室
 玉井奈緒 東京大学
 矢嶋多美子 NPO法人 日本臨床研究支援ユニット

化療経験患者に対するアンケート調査

<目的>化療患者が美容的な面で困ること、必要とする知識や情報、技術などについて明らかにする

<対象>

- ・過去5年以内にアンストラサイクリンまたはタキサンを含む術前後化療終了者
- ・登録時非再発例
- ・登録時年齢が20-70歳

<登録期間>

2013.4-10

<目標登録数>500例

<目標参加施設数>10-20施設程度

<方法>

- ・主治医が患者にアンケート調査セットを渡し、回答用紙を患者が直接データセンターに送付する。
- ・患者が郵送した時点で、研究に同意したものとみなす。

1)「乳癌補助化学療法における脱毛の実態に関する多施設アンケート調査」

発表者: 渡辺隆紀(仙台医療センター)

演題番号: OS-1-02-02

2)「乳癌化学療法レジメン別にみた頭髪の長期的回復-全国アンケート調査から」

発表者: 矢形 寛(埼玉医科大学 総合医療センター プレストケア科)

演題番号: PD1-1

3)「化学療法を受ける乳癌患者の爪の変化の実態-多施設アンケート調査から」

発表者: 玉井奈緒(東京大学)

演題番号: OS-1-03-05

4)「乳癌の化学療法に起因した脱毛に対する予防的介入: システマティックレビュー」

発表者: 岡田宏子(東京大学)

演題番号: GP-2-12-35

アンケート質問項目 -65項目(重複あり)-

1.化学療法中に感じた苦痛	17項目
2.頭髪の状況	14項目
3.眉毛の状況	2項目
4.まつげの状況	2項目
5.爪の状況	6項目
6.ウィッグ等の装具について	11項目
7.情報入手について	16項目
8.メイクや爪のケアについて	12項目

結果

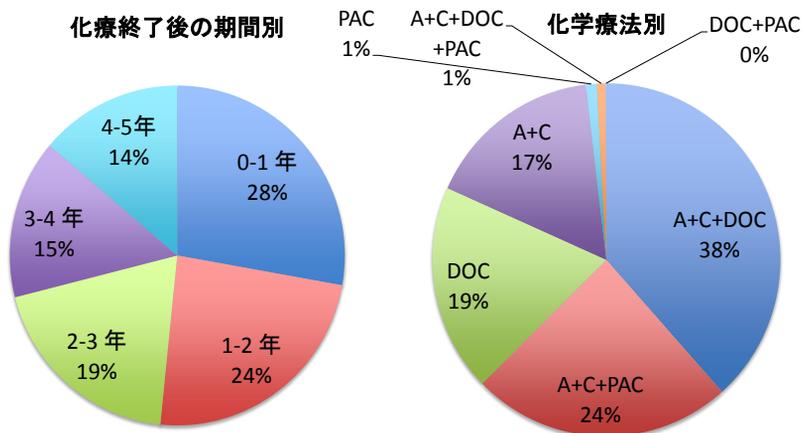
- ・乳がん患者1511名から回答
- ・33名は適確基準外
- ・1478名のアンケートを対象に解析
- ・本日は、基本的事項についての報告

協力していただいた御施設の皆様、そして患者の皆様大変ありがとうございました

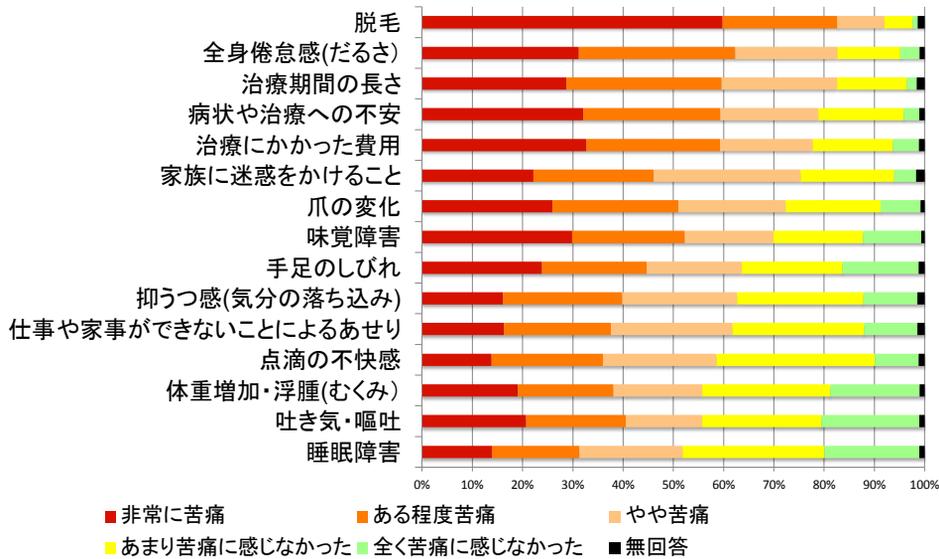
千葉大学医学部附属病院	星総合病院
聖路加国際病院	帝京大学ちば医療センター
愛知県がんセンター中央病院	JA北海道厚生連旭川厚生病院
弘前市立病院	原町赤十字病院
仙台医療センター	大阪労災病院
湘南記念病院	神戸市立医療センター中央市民病院
佐久総合病院	関西医科大学附属枚方病院
青森市民病院	鹿児島大学病院
さいたま赤十字病院	旭川医科大学
群馬県立がんセンター	東邦大学医療センター大橋病院
みやうちクリニック	松下記念病院
岡山大学病院	国立病院機構四国がんセンター
千葉県がんセンター	九州がんセンター
大阪成人病センター	久留米大学病院
大分県立病院	京都桂病院
東京都立駒込病院	青森県立中央病院
順天堂大学医学部附属順天堂医院	はしづめクリニック
社会保険久留米第一病院	りょうクリニック
東海大学医学部附属病院	長野市民病院
大垣市民病院	済生会兵庫県病院
相良病院	新潟大学医歯学総合病院
関西労災病院	江南厚生病院
大分医療センター	手稲溪仁会病院
公立甲賀病院	札幌医科大学
熊本赤十字病院	(49施設)

患者の内訳(n=1478)

平均年齢 54.7+10.4



化学療法中に感じた苦痛

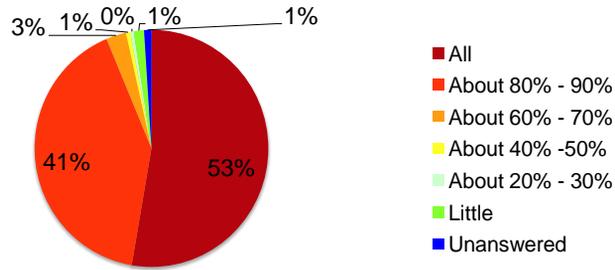


Q: 脱毛しましたか？

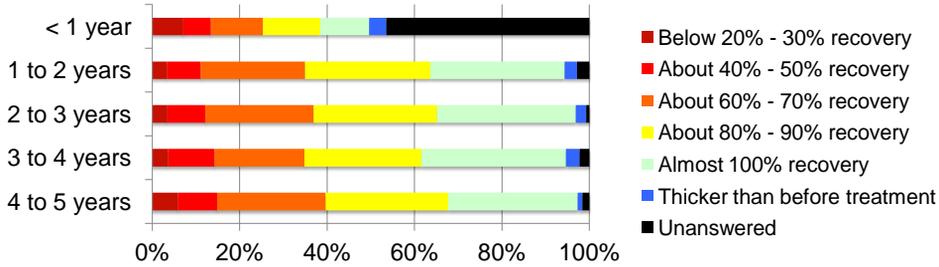


抜け始めまでの日数(n=1389) 18.0(+/-12.7)日
 発毛開始までの月数(n=1158) 3.4(+/-4.9)月

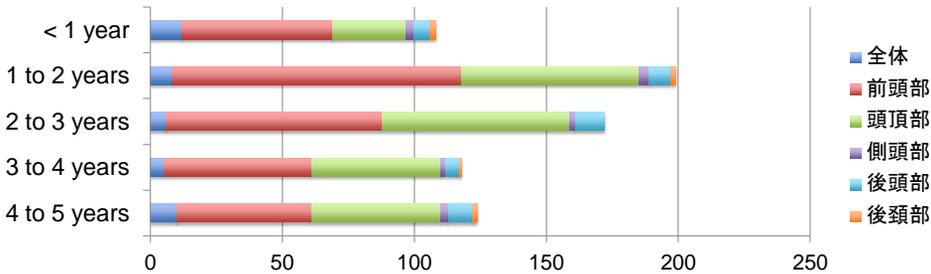
Q: 治療中にどの程度脱毛しましたか？



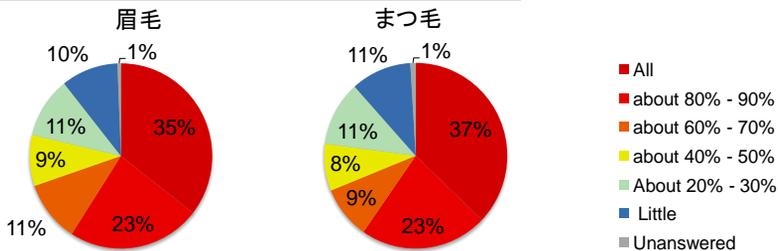
Q: 治療前と比較してどの程度脱毛が回復しましたか?



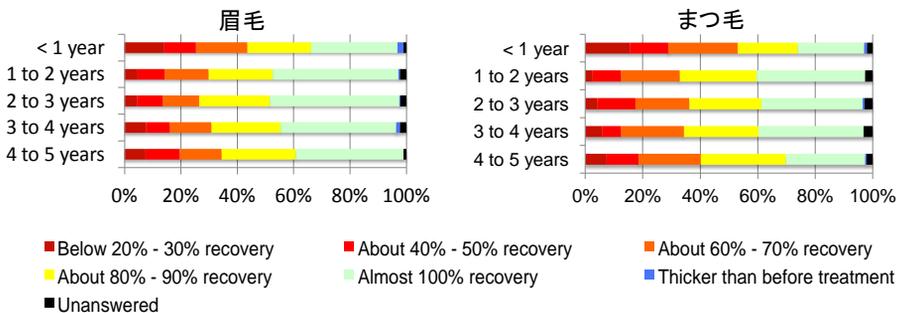
Q: 発毛不良の部位は?



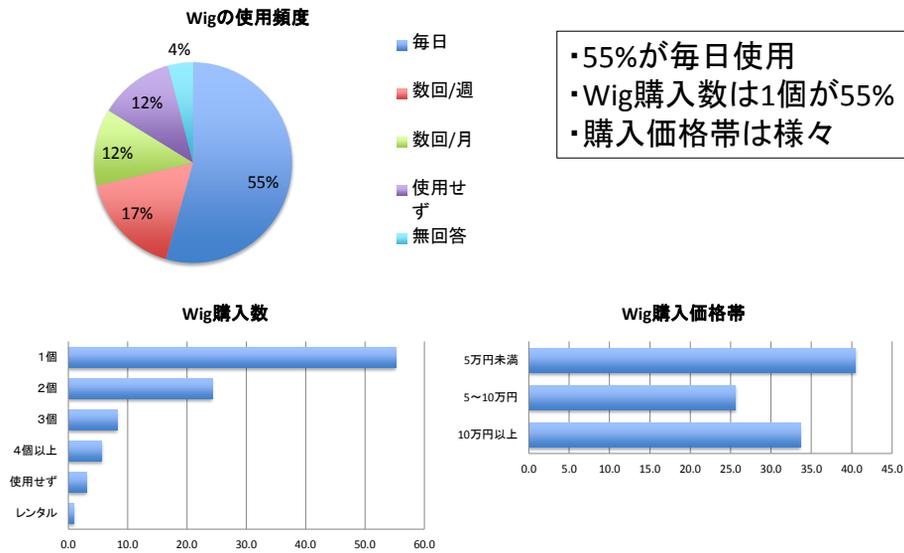
Q: 治療中にどの程度脱毛しましたか?



Q: 現在どの程度回復しましたか?

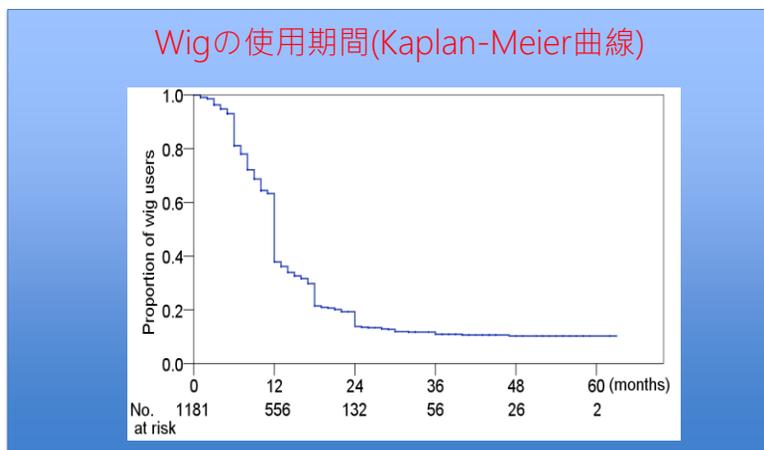


Wigに関して

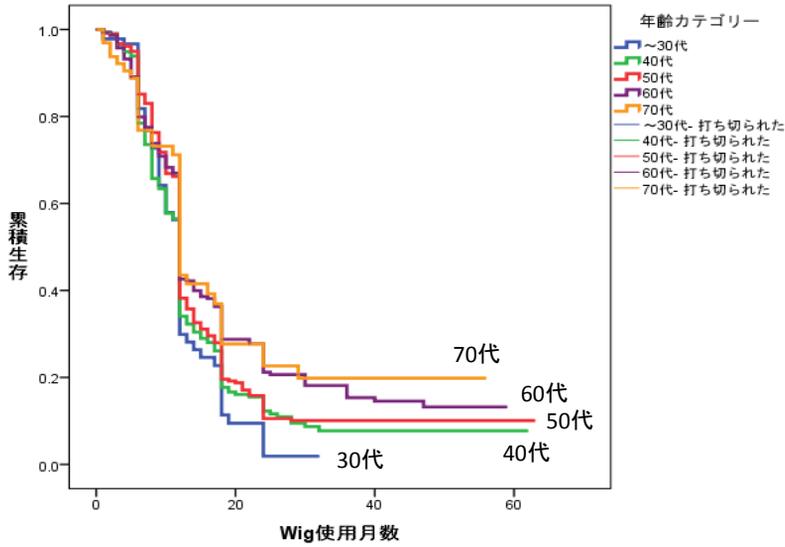


Q: Wigの使用期間は？

平均12.5+/-9.7ヶ月

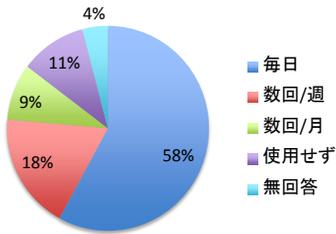


年代別に見たかつら使用期間

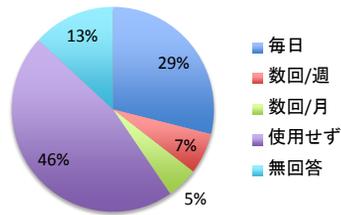


Wig以外の装具について

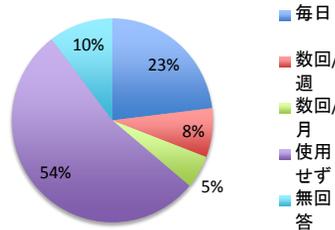
帽子使用状況



タオルキャップ使用状況



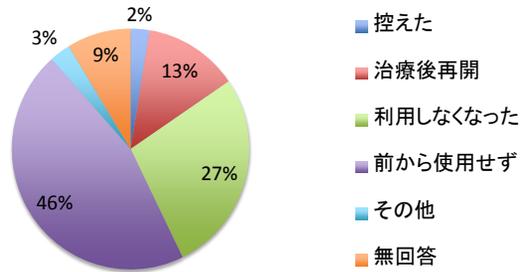
バンダナ使用状況



・帽子利用者が最も多かった
 ・ついでタオルキャップ、バンダナ利用者が多かった

パーマについて

パーマ利用状況



パーマの再開時期(化学療法終了後)

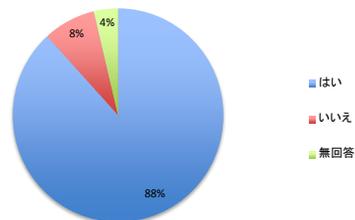
	N	平均値	標準偏差	最小値	最大値
治療後経過月数	117	19.44	8.9	12	48



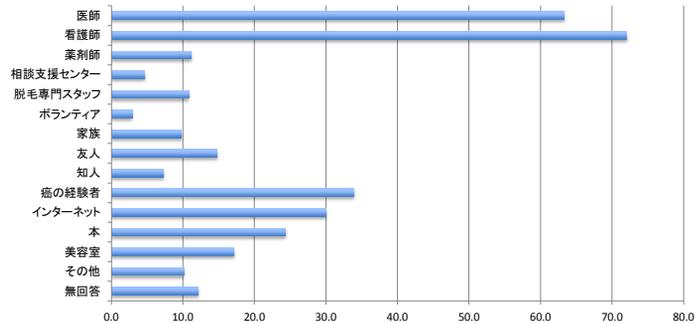
頭髮に関する情報の入手

頭髮等の情報を入手できたか

・情報入手は医師や看護師、癌経験者、インターネットなどが多かった



情報入手先(重複有り)



まとめ

- ・化学療法時に最も苦痛と感じたのは脱毛
- ・吐き気や嘔吐は苦痛の程度が軽減している
- ・98%が脱毛したと回答
- ・脱毛開始は化療開始後18日程度
- ・発毛開始は化療終了後3ヶ月程度
- ・かつら使用期間は平均12ヶ月
- ・一部の患者は数年経ってもかつらが必要
高齢なほどかつら離脱困難、しかし若年者でも

今後行うこと

- 詳細な報告書の作成・公開
- 患者・医療者用の教育資材作成